

たんけん

探検?

ただみ

只見線が

つながりまち

れまし

／ 只見線に乗って歴史・文化を学ぼう ／

おうえん
只見線応援
キャラクター
「キハちゃん」
かつせいかたいさくきょうぎかい
(只見線活性化対策協議会)



福島県

はじめに みんなで学ぼう!

JR只見線が走る沿線の地域には、豊かな自然や歴史ある建物や史跡、古くから伝わる習慣や文化があります。

只見線の歴史と共に、只見線が
つないできた歴史や文化を一緒に
学びましょう。

只見線応援
キャラクター
「キハちゃん」
(只見線活性化対策協議会)



もくじ

「キハ40系」から名付けられ、
只見線の魅力を発信して活動中!

第1章 只見線と電源開発

- 1 只見線について知ろう 1
- 2 只見線の歴史を見てみよう 2
- 3 電源開発の歴史を見てみよう 3

第2章 只見線がつなく歴史

- 1 只見線が走るの
どんなところ? 5
- 2 只見線が走るまちと周辺のまちの歴史 ... 7
- 3 どんな史跡があるの? 9
- 4 どんなお寺や神社があるの? 11
- 5 先人たちの功績を知ろう 13

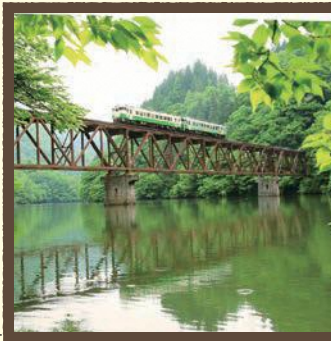
第3章 只見線がつなく文化

- 1 雪深い内陸ならではの
食文化を知ろう 15
- 2 伝統とものづくり産業を知ろう 17
- 3 受け継がれる伝統文化 19

- 只見線がはしるまち
- 国道・県道
- 磐越自動車道
- 鉄道
- 只見線
- 只見線復旧区間
- 会津鉄道



新潟県



只見線 沿線MAP えんせんマップ



いったことがあるまちは
あるかな?

第1章 只見線と電源開発

只見線と電源開発の歴史をたどろう



1 只見線について知ろう

JR只見線とは



▲只見川第1橋りょう（三島町）

全長135.2kmのローカル線

福島県会津若松市にある「会津若松駅」と新潟県魚沼市にある「小出駅」を結ぶ全長135.2km、全36駅のローカル線です。只見線は四季を通じて、只見川や山々の美しい景色が楽しめるため、とても人気があります。



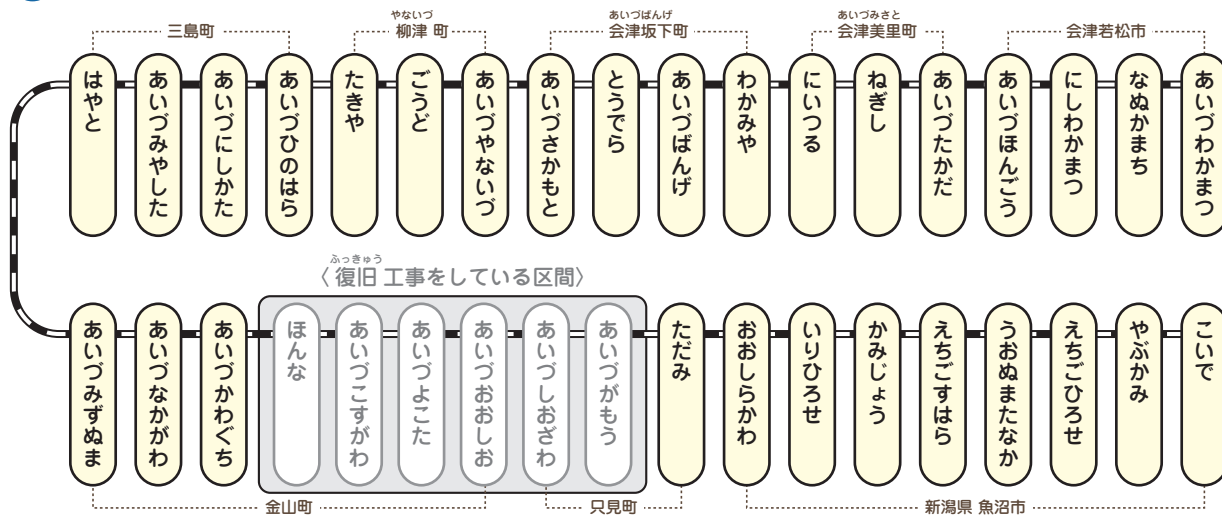
只見川第4橋りょう（金山町）▲

また、大自然と只見川にかかる橋りょう（鉄橋）と列車は、美しい風景を作り出すため、写真を撮影する方や、海外からの旅行者も多く訪れています。



只見線の列車は、電気じゃなくてディーゼル（軽油）で動くんだよ

只見線がつなぐ駅



2 只見線の歴史をたどろう

只見線の歴史と今



只見線のはじまり

西暦（和暦）	只見線の歴史
1926年（大正15年）	「会津線」として、会津若松駅から会津坂下駅間（21.6km）が開業。
1942年（昭和17年）	「只見線」として新潟県小出駅から大白川駅間（26.0km）が開業。
1957年（昭和32年）	田子倉ダム（只見町）建設の資材を輸送するための鉄道として、会津川口駅から只見駅間が開通。
1971年（昭和46年）	8月29日、只見駅から大白川駅間（20.8km）が開通。 会津若松駅から只見駅間を会津線から分離し、『只見線』に統合され、今の只見線の形である、会津若松駅から小出駅間135.2kmとなりました。



只見駅で只見線全線開通を祝う人々 ▲

只見線と会津線が統合され、現在の只見線の形になってから、地元を始め多くの人々に愛されてきました。

豪雨災害からの復興



▲流された只見川第6橋りょう（金山町）

2011年（平成23年）7月、新潟・福島豪雨災害が発生し、只見川にかかる第5・6・7橋りょうが流され、会津川口駅と只見駅間が運行できなくなりました。現在は、代行バスによる輸送が続いています。

只見線は、地域の人々の生活や観光にとって大切な鉄道路線であるため、上下分離方式で復旧することが決定し、全線開通を目指し復旧工事が進められています。

上下分離方式とは
福島県が駅舎や線路を管理し
JRが列車を運行する
方法だよ

3 電源開発の歴史を見よう

電源開発の歴史

電気を作り出す水力発電

只見川の電源開発の歴史は1910年（明治43年）に始まります。只見川は山あいであり、流れが急で、雨や雪の量も多く水量が豊富なため、水力発電所建設の有力な候補地でした。

1951年（昭和26年）に、只見特定地域総合開発計画が定められ、田子倉ダムなどの大規模ダム・発電所をはじめ、多くの水力発電所が建設されました。

西暦 (和暦)	電源開発の歴史
1946年 (昭和21年)	「宮下ダム」(三島町) が完成。
1952年 (昭和27年)	「沼沢発電所」(金山町) が完成。
1953年 (昭和28年)	柳津ダム(柳津町) と片門ダム(会津坂下町) が完成。
1954年 (昭和29年)	本名ダム(金山町) と上田ダム(金山町) が完成。
1959年 (昭和34年)	田子倉ダム(只見町) が完成。
1961年 (昭和36年)	滝ダム(金山町) が完成。
1963年 (昭和38年)	大鳥ダム(只見町) が完成。
1982年 (昭和57年)	第二沼沢発電所(金山町) が完成。
1989年 (平成元年)	只見ダム(只見町) が完成。

只見川には
たくさんのダムが
あるんだね



建設中の田子倉ダム(只見町) ▲

いろいろなダム



そうじょうすいりょう
総貯水量
日本第3位

たごくら 田子倉ダム(只見町) MAP A-3
最大出力: 400,000kW
ダム高さ: 145.00m
最寄駅: 只見



みやした 宮下ダム(三島町) MAP C-2
最大出力: 94,000kW
ダム高さ: 53.00m
最寄駅: 会津宮下



たき 滝ダム(金山町) MAP B-3
最大出力: 92,000kW
ダム高さ: 46.00m
最寄駅: 会津塩沢



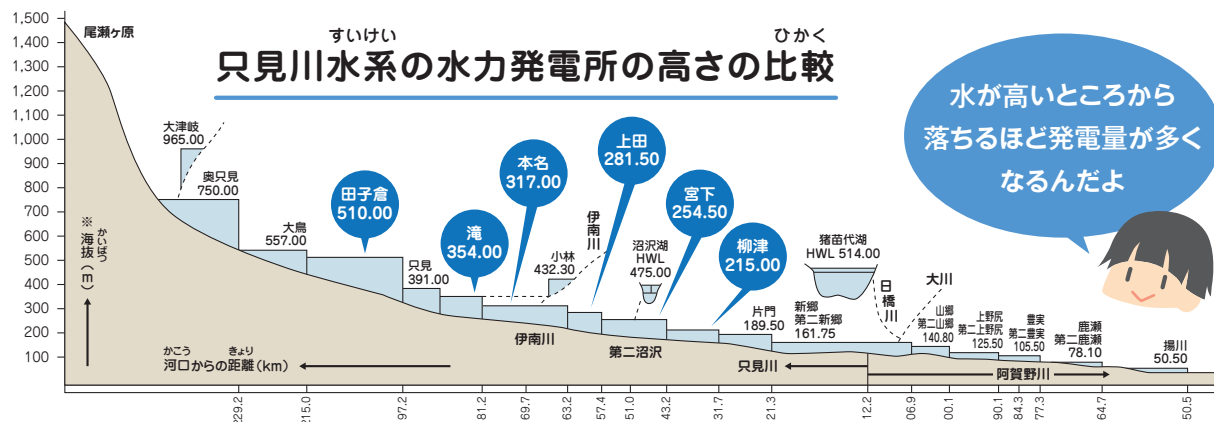
ほんな 本名ダム(金山町) MAP B-2
最大出力: 78,000kW
ダム高さ: 51.50m
最寄駅: 本名



やないわ 柳津ダム(柳津町) MAP C-2
最大出力: 75,000kW
ダム高さ: 34.00m
最寄駅: 郷戸



うわだ 上田ダム(金山町) MAP B-2
最大出力: 63,900kW
ダム高さ: 34.00m
最寄駅: 会津中川



水が高いところから
落ちるほど発電量が多
くなるんだよ

※海拔とは: 海水面から測った陸地の高さのこと

電気はどこに行く?

家庭や会社の電気へ

田子倉ダムをはじめとする只見川にあるダム全てで、1時間で最大約170万kWの電力を作り出すことができます。これらの電気は、送電線・変電所を通して関東地方や東北地方および新潟県の家庭や会社に送られ、日々の生活に使われています。

1家庭あたり1日に使う電力は
平均約13kW。
約13万世帯で1日に
使われる電力を1時間で
作り出しているんだね

電源開発の立役者

しらす じろう
白洲 次郎

MAP B-2

最寄駅: 会津中川

戦後の日本に大きな影響を与えた人物で、初代東北電力会長として只見川の電源開発に尽力しました。

本名ダム、上田ダム、柳津ダム、片門ダムに白洲次郎の言葉が刻まれた記念碑が建てられています。

白洲次郎記念碑(上田ダム) ▼



▲ 旧白洲邸武相荘提供

第2章 只見線がっなく歴史

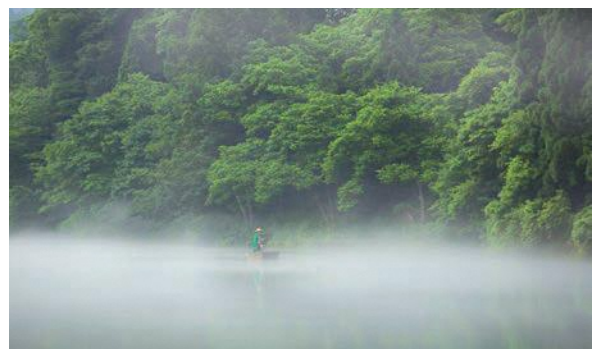
只見線が走るまちと周辺のまちの自然や歴史を見てみよう



1 只見線が走るのほどんところ？

只見線は会津盆地の豊かな田園地帯、只見川と山々の中を走ります。走る場所によっていろいろな美しい景色を楽しめます。

豊かな自然



霧幻峡の渡し (金山町) ▲



恵みの森 (只見町) ▲

只見川

只見川は尾瀬沼を源流とし、阿賀川に合流して新潟県で日本海にそそいでいます。只見川では、梅雨の時期から夏にかけて、川霧を見ることができます。川霧は早朝や夕方、雨上がりなどに、暖かく湿った空気が川に冷やされて生じます。

冬に吐く息が白くなるのと同じくみなんだね



只見のブナ林

面積の9割が山林の只見町。只見町には広大なブナの林が数多くあり、トレッキングや自然観察ができます。

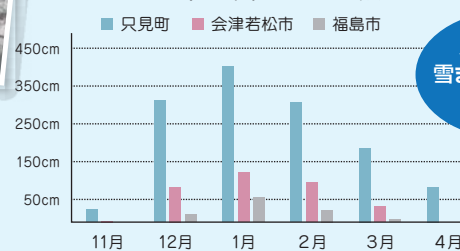
2014年、只見町全域と檜枝岐村の一部地域は、自然環境・野生動植物と人間社会との共生を実現するモデル地域であるユネスコエコパークに登録されました。

知ってるかな？

会津地方は日本有数の豪雪地帯

会津地方は、日本海側気候に属し、また、海から遠く離れた内陸性気候のため、夏は暑く冬は寒いという特徴があります。特に、新潟県との県境に位置する只見町は、積雪が3mを越すこともあり、国の特別豪雪地帯に指定されています。

2017-18年の降雪量比較



スキー場や雪まつりイベントも多いよ！



自然の造形

高い山々に囲まれた会津地方

会津地方は、会津盆地を中心に、東には磐梯山と猪苗代湖、西には越後山脈、南は下野山地、北は飯豊山地に囲まれています。只見町や金山町、昭和村の山々には、豪雪により繰り返す雪崩で山肌が削り取られて作られた雪食地形が発達しています。そそり立つように急な斜面とナイフのようにするどい尾根が特徴です。こうした景観が比較的低標高で見ることができるのは珍しいことです。



雪食地形 (只見町) ▲

自然が作り出したふしぎな地形

金山町には、約5,600年前に火山活動から生まれたカルデラ湖である「沼沢湖」や、長い年月をかけてできた「滝沢川おう穴群」があり、大自然が作り出した造形がたくさんあります。

MAP C-2

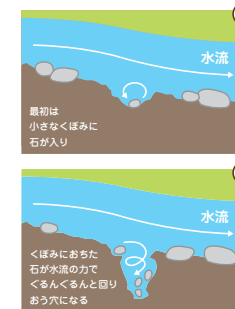
最寄駅：早戸

沼沢湖 (金山町) ▶



「おう穴群」ってなんだろう？

MAP B-2 最寄駅：会津大塚



① おう穴とは、川床の岩のくぼみに等に入り込んだ小石が水流で回転し、長い年月をかけてなめらかに、深く削った岩のことです。



滝沢川おう穴群 (金山町) ▲



▲ 根岸駅付近 (会津美里町)



▲ 大志集落ビューポイント (金山町)



▲ 田子倉湖 (只見町)



▲ 会津西方駅付近 (三島町)

どの季節も美しい景色だね

只見線の四季

写真(春・夏・冬) 星賢孝氏提供

2 只貝線が走るまちと周辺のまちの歴史

「古事記」にも会津が登場

「会津」のはじまり

日本で一番古い実際に存在する歴史書である「古事記」には、東北地方で唯一、会津での物語が登場します。

「古事記」には、3～4世紀頃に東日本を治めるために送り出された2人の将軍、「建沼河別命」と、「大毘古命」が、現在の会津の地で出会い、出会った地点が「水辺」だったことから「相津（あいづ）」と名付けられたとつづられています。

「津」は水辺を意味する文字なんだよ

これが現在の「会津」の地名の語源とされています。

仏教文化の時代

会津地方は、山々に囲まれた場所ですが、日本海側と太平洋側からの文化が出会う場所として、また東北地方への入口として栄えていたため、仏教文化が入ってくるのも早いものでした。平安時代の初め頃、奈良の東大寺や興福寺で学んだ僧・徳一によって勝常寺や恵日寺など多くの寺院が開かれ、仏教文化が会津地方に広められました。その中でも特に恵日寺が大きな力を持つようになりました。

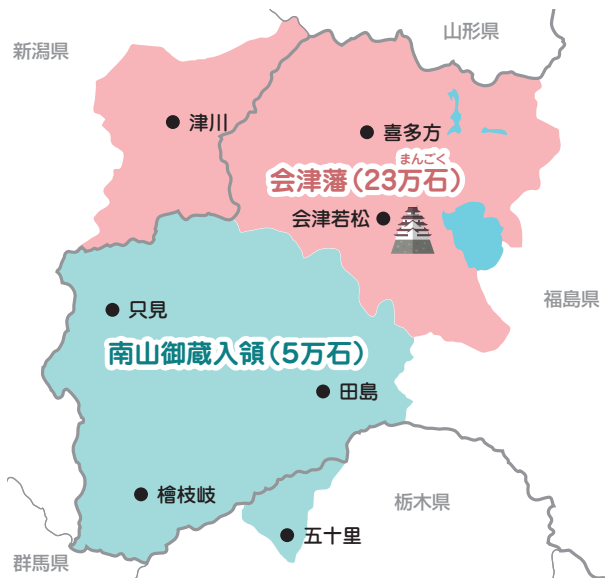
こうして会津地方は、東北地方でいち早く仏教文化が栄えた地として、奈良・京都・鎌倉・平泉などと共に仏教の栄えた地域のひとつに数えられました。

武士の時代

武士による支配

恵日寺の力がおとろえると、会津地方は武士による支配が始まりました。葦名氏に始まり、蒲生氏、上杉氏、加藤氏と支配がうつり、江戸時代の大部分は、保科家から姓を改めた会津松平家が治めました。

江戸時代には、現在の会津地方と新潟県・栃木県の一部という広大な領地を治めていました。その半分ほどは「南山御蔵入領」と呼ばれる幕府直轄領で、現在の南会津郡全域と大沼郡の大半、柳津町の一部でした。



ならぬものはならぬものです



▲ 会津藩校日新館（会津若松市） MAP D-1 最寄駅：会津若松

上級藩士の6歳～9歳の子ども達は、当時の学校である会津藩校日新館に通い、地域ごとに「什」というグループを作り一緒に勉強や遊びをしていました。この「什」には、「什の掟」というルールがあり、「ならぬことは、ならぬものです」と教えていました。

現在でも会津若松市内の小学校では什の掟をもとにした「あいづっこ宣言」を教えています。

あいづっこ宣言

- 一、人をいたわります
 - 二、ありがとうごめんなさいを言います
 - 三、がまんをします
 - 四、卑怯なふるまいをしません
 - 五、会津を誇り年上を敬います
 - 六、夢に向かってがんばります
- やっちはならぬ やらねばならぬ ならぬことはならぬものです

戊辰戦争



若松城 天守閣 東側（会津若松市教育委員会 提供）▲

新しい世の中を作ろうとする新政府軍と、幕府中心の世の中を守り通そうとした旧幕府軍の戦いが戊辰戦争です。会津藩も旧幕府軍側として激しい戦いを繰り広げ、会津でも戦いが行われました。

会津藩は、1ヶ月におよぶ若松城（鶴ヶ城）での戦いに耐えましたが、力に勝る新政府軍に敗れ、1868年（明治元年）旧暦9月22日に降伏しました。



京都守護職は今で言う警察のようなものだよ

松平 容保

会津藩の9代藩主です。1862年（文久2年）、徳川幕府の命令により京都守護職になり、京都の治安を守るために力を尽くしました。しかし、戊辰戦争で降伏した後、日光東照宮の宮司などをつとめました。

どんち しせき 史跡があるの？

わかまつじょう つるがじょう
若松城 (鶴ヶ城) MAP D-2 最寄駅：会津若松

国指定史跡の鶴ヶ城は、1384年(至徳元年)に葦名氏によって建てられた東黒川館がはじまりといわれています。戊辰戦争では約1ヶ月に及ぶ激しい戦いに耐えた名城として知られました。



てんしゆかく
天守閣の内部は
きちよう しりよう
貴重な資料などを
はくぶつかん
公開している博物館に
なっているよ



いもり
飯盛山 MAP E-2 最寄駅：会津若松

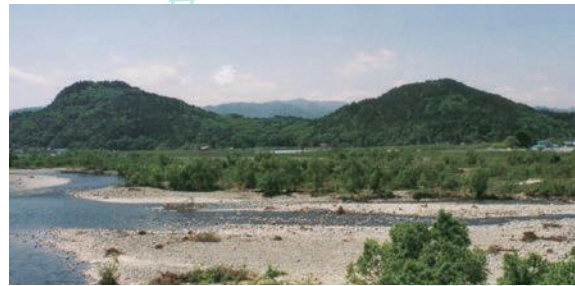
会津若松市の東にあり、若松城下を見渡せる小高い山で、白虎隊十九士の墓があります。白虎隊は、戊辰戦争で戦った16才~17才の少年達で、ここから火に包まれる城下を見て城が落城したと思ひ、若い命を散らしたとされています。



陣が峯城跡 (会津坂下町教育委員会 提供) ▲

じん みねじょうあと
陣が峯城跡 MAP D-1 最寄駅：塔寺

会津坂下町にある平安時代末期の城館跡です。12世紀の城館遺構が残る遺跡としては全国でも珍しく貴重であるとされ、2007年に陣が峯城跡として国の史跡に指定されました。

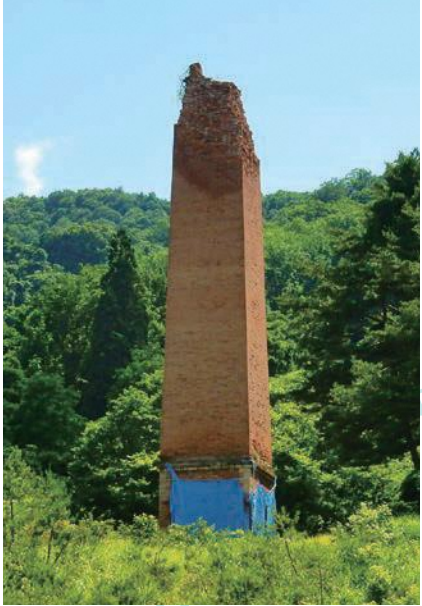


むかいはくろやまじょうあと
向羽黒山城跡 MAP D-2 最寄駅：会津本郷

会津美里町にある国指定史跡である山城跡です。戦国時代に会津を治めた葦名盛氏が8年の歳月をかけて城を築きました。

山の上にお茶を飲む場所を設けていたことにちなんで、その場所で毎年お茶会が開かれています。

山の上に城を建てて外から敵が来ないか監視していたんだよ



あつぎんざんかいどう
会津銀山街道 MAP C-2 最寄駅：滝谷

あいつぎんざんかいどう
会津銀山街道

げんざい
現在は、県道になっていて
街道を歩くイベントが
行われているよ



会津銀山街道の名前は、かつて柳津町にあった軽井沢銀山に由来します。戦国時代から明治時代にかけて、日本有数の銀がとれる山でした。銀山街道は、会津若松市から只見町にかけて、銀などの物資を運ぶ重要な道でした。

あらしきいせき
荒屋敷遺跡 MAP C-2 最寄駅：会津宮下

三島町にある約2,400年前の縄文時代晩期の遺跡です。土器や石器だけでなく、とても珍しい木製品や漆塗製品、織維製品といった遺物も発見されました。縄文時代の技術を伝える貴重な遺跡です。平成30年3月に、遺物589点を国の重要文化財として指定することが文部科学大臣に答申されました。



あつぎんざんかいどう
荒屋敷遺跡跡発掘調査
荒屋敷遺跡出土品 編みカゴ ▶
(三島町教育委員会 提供)



▲ 只見駅のうら (北側) にそびえる山が要害山 (手前の建物は只見駅)

みずくぼじょうあと
水久保城跡 MAP A-3 最寄駅：只見

只見駅北側の要害山に築かれた山城です。今から500年前頃の只見地方は山之内氏が治めていました。戦国時代の終わりに伊達政宗が会津まで攻め入り水久保城まで来ましたが、攻め落とされなかったと言われています。

山の名前である「要害」とは地形が険しく敵の攻撃を防ぐために有利な場所という意味なんだよ



4 どんなお寺や神社があるの？

日本遺産「会津の三十三観音めぐり」



さざえ堂
MAP E-2 最寄駅：会津若松

国の重要文化財に指定された江戸時代中期の仏堂です。上りと下りですれ違わないという、二重らせん構造になっており、同じところを通らずに見物できる世界でも珍しい建物です。



成法寺 観音堂
MAP B-3 最寄駅：只見

只見町にある寺で、観音堂は国の重要文化財に指定されています。

観音堂は、昔の日本と中国の建物のつくり方をまぜた美しい建物で、今から500年前の室町時代の終わり頃の建物と言われています。



龍興寺
MAP D-2 最寄駅：会津高田

福島県内に3つしかない国宝のひとつ「一字蓮台法華経開結共」が所蔵されています。会津美里町高田地区出身で、徳川家康に仕えた「天海大僧正」が出家した寺です。



福満虚空藏菩薩圓藏寺
MAP C-2 最寄駅：会津柳津

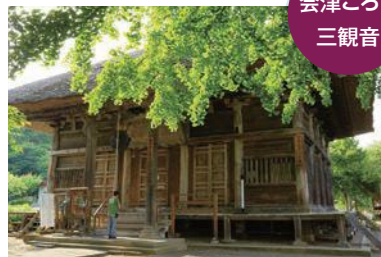
日本三大虚空蔵のひとつに数えられている柳津町にある寺です。400年前の大地震の時に赤毛の牛が寺を再建する資材を運んでくれたことから「赤べこ伝説」が伝わっています。



会津ころり三観音 弘安寺 中田観音
MAP D-2 最寄駅：根岸

会津ころり三観音のひとつです。本尊の十一面観音は縁結びや安産などのご利益があるとされ、国の重要文化財に指定されています。

会津ころり三観音とは、「びんびん、ころり」と逝きたいという願いを叶えてくれると信じられているよ

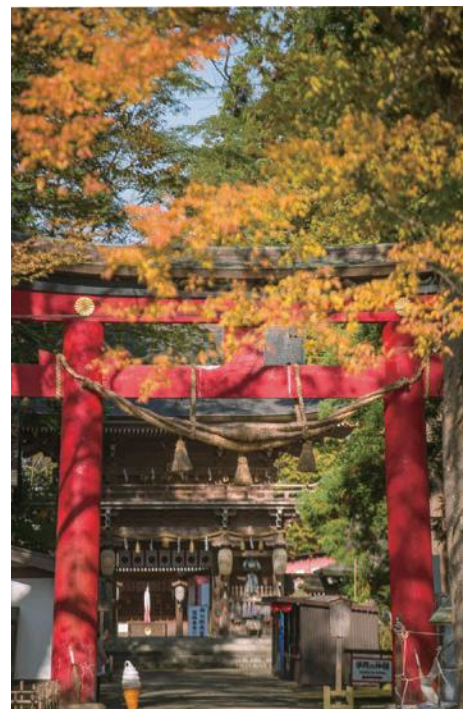


会津ころり三観音 恵隆寺 立木観音
MAP D-1 最寄駅：塔寺

国の重要文化財であり、会津ころり三観音のひとつです。一本の木材から彫られた高さ8.5mの巨大な千手観音立像があります。

昔の人は、友人とお寺や神社をめぐりながら旅をすることが楽しみだったんだよ

会津の大鎮守六社



伊佐須美神社
MAP D-2 最寄駅：会津高田

会津美里町にあり、会津の守り神として2000年の歴史があります。会津の地名の由来となった、古事記に登場する「建沼河別命」と、その父「大毘古命」が祀られています。



心清水八幡神社
MAP D-1 最寄駅：塔寺

会津坂下町にある神社で、源頼義、義家父子に由来するとされています。神社の中には、「塔寺八幡宮長帳」と呼ばれる古文書があり、国の重要文化財に指定されています。

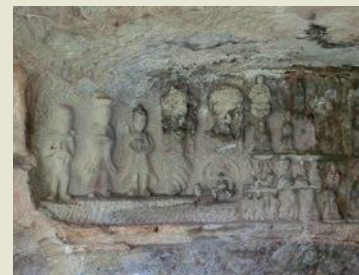
会津の大鎮守六社

現在の福島県と新潟県にまたがる6つの神社で、歴代の会津藩主からも厚く信仰されていました。伊佐須美神社（会津美里町）、心清水八幡神社（会津坂下町）、諏方神社（会津若松市）、磐椅神社（猪苗代町）、蚕養国神社（会津若松市）、西村八幡宮（新潟県阿賀町）

知ってるかな？

まがらぶつ 鮭立の磨崖仏

金山町鮭立地区にある会津地方で唯一の磨崖仏像群です。磨崖仏とは、自然にある巨大な石や岩の壁に直接彫られた仏像のことです。五穀豊穡と疫病退散を祈願したものとされています。



岩の壁に彫られた仏像 ▲

作られた当時は色が塗られていたんだよ

5 先人たちの功績を知ろう

こうせき

いよく じょうねつ 意欲と情熱の先人たち

にいじま や え 新島 八重 (1845年~1932年)

ほしんせんそう じゅう たち いっしょ たたか
戊辰戦争では銃をかまえて男達と一緒に戦いました。戊辰戦争後は、京都に移り、英語を学ぶなど明治時代の新しい女性教育者として活躍しました。

2013年に、新島八重を主人公にしたNHK大河ドラマ「八重の桜」が放送されました。



(同志社大学 提供)

八重の夫の新島襄は、現在の同志社大学の元となった同志社英学校を設立したよ



新島八重生誕の地 (会津若松市)

MAP D-2 最寄駅：会津若松



(国立国会図書館蔵)

大山捨松生誕の地 (会津若松市)

MAP D-2 最寄駅：会津若松

おおやま すてまつ 大山 捨松 (1860年~1919年)

会津藩家老の娘で、日本初の女子留学生のひとりとしてアメリカへ渡りました。結婚後、留学経験をいかして、当時の外交の舞台だった鹿鳴館の華とうたわれ、日米親善の先がけとなりました。

会津坂下町の法界寺にお墓があるよ

MAP D-1

最寄駅：会津坂下

なかの たけこ 中野 竹子 (1850年~1868年)

会津藩士中野平内の娘で、子ども達になぎなたや学問を教えていました。戊辰戦争が始まると、女性だけで結成された婦女隊として戦いました。なぎなたで男子顔負けの戦いをしましたが、戦いむなく敵がはなった弾丸に倒れました。



中野竹子殉節の碑 (会津若松市) ▲



天海大僧正石像 (会津美里町) ▲

てんかいだいそうじょう 天海大僧正 (1536年~1643年)

MAP D-2 最寄駅：会津高田

会津美里町高田地区に生まれ、戦国時代末期から江戸時代初期にかけて活躍した僧侶です。徳川幕府の基礎をつくった家康をはじめ、2代将軍秀忠、3代将軍家光につかえ、日本全国での政治や宗教のあり方を決める相談役でした。



▲ © Hisako Watanabe「仲間達 (なかまたち) (B)」 斎藤清美術館所蔵

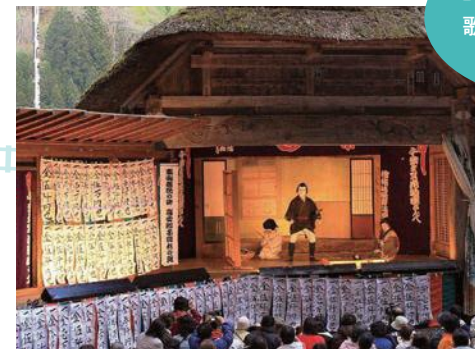
かわい つくのすけ 河井 継之助 (1827年~1868年)

河井継之助は、幕末(江戸時代末期)の越後長岡藩士です(現在の新潟県)。戊辰戦争で銃弾を受け会津若松に向かう途中、只見町で亡くなりました。

只見町にある河井継之助記念館には、当時の貴重な資料や、継之助が亡くなった「終焉の間(部屋)」が当時の面影を残し保存されています。



地域で行われている歌舞伎の演目にもなっているよ



▲ 南山御蔵入騒動を劇化した檜枝岐歌舞伎

▲ 南山義民 けんしょうび 顕彰碑 (金山町)



みなみやまおくらいり きみん 南山御蔵入の義民たち

MAP B-2 最寄駅：会津川口

1720年(享保5年)、幕府直轄領であった南山御蔵入領で、百姓一揆が起こりました。年貢の重さに耐えかねた農民らが、幕府に訴えたところ南山一帯に一揆が広がりましたが、この一揆の首謀者達は処刑されました。この話は「南山御蔵入騒動」として歌舞伎などでも演じられ語り継がれています。

柳津町の斎藤清美術館は斎藤作品コレクション世界。版画以外にもいろいろな作品があるよ。

さいとう きよし 斎藤 清 (1907年~1997年)

MAP C-2 最寄駅：会津柳津

斎藤清は、明治40年に会津で生まれた世界的な版画家です。2017年には、亡くなって20年目を記念して、国内各地で大々的に展覧会が開かれました。

斎藤清は独学で、様々な作り方を考え出し、日本の版画のすごさを世界に示しました。

第3章 只見線がつなぐ文化

只見線が走るまちと周辺のまちの文化を見てみよう



1 雪深い内陸ならではの食文化を知ろう

受け継がれる食の知恵と文化



こづゆ

正月やお祝などの特別な日のごちそうです。ホタテの貝柱でだしを取り、一口大に切った里芋やにんじんなど、貝だくさんで作ります。家庭ごとに味つけが違ふと言われています。

普通のごぼうの葉



立川ごぼう

全国でも会津坂下町の立川地区でしか作られていない伝統野菜です。普通のごぼうは丸い葉をしていますが、立川ごぼうの葉はアザミのようにギザギザしています。

高田梅

会津美里町で栽培されている梅で、種が小さくて果肉が厚く、ゴルフボールほどもある大きい実が特徴です。室町時代に旅をしていた僧侶が現在の大分県の梅を持ちこんだのが始まりと言われています。



にしんの山椒漬

海から遠い会津地方では、生魚などが少なかったため、にしんは貴重なタンパク源として食べられてきました。



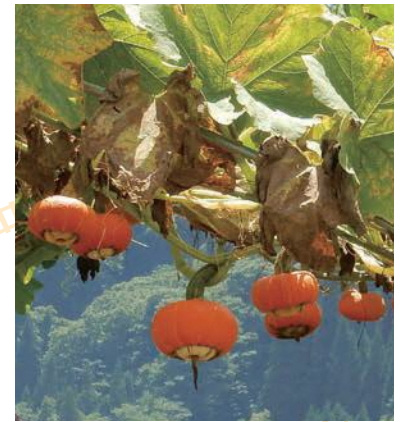
あわまんじゅう

柳津町を代表するまんじゅうです。江戸時代の終わりごろ、数々の災害が起こり、二度とこのような災害に「あわ」ないようにと、お寺にお供えしたのがはじまりと伝えられています。



会津地鶏

会津地方固有の種類のにわとりです。肉質が良く、噛むほどに旨味があふれだしてきます。美しい尾羽は、会津地方に伝わる伝統行事「会津彼岸獅子」の飾羽に使われています。



奥会津金山赤カボチャ

金山町の特産品です。皮も果肉もオレンジ色で、皮がうすく、ホクホクした食感で甘みが強いのが特徴です。主に地面に実をつけない、つり下げ式で栽培されるのも特徴です。



アザキ大根

金山町の太郎布高原などに自生している20cmほどの野生の大根で、金山町の特産品です。強い辛みが特徴で、固くて食べられず「あざむかれた」が「アザキ」の語源と言われています。すりおろして、そばの薬味として食べられています。



アザキ大根の花

水あめ



只見町では、厳しく長い冬の間、もち米と麦芽だけで水あめを作っていました。あめができると、ご近所や友人をまねいてふるまう女性限定の「あめよばれ」という風習は今も残っています。



そば

会津地方は、全国有数のそばの産地です。また、独自のそば打ち道具や技術など、優れたそばの食文化が根付いています。

そばの花を見たことあるかな?

2 伝統とものづくり産業を知ろう

豊かな自然を活かした産業



米づくり

会津地方は全国有数の米処として知られています。会津盆地を中心に昼は暑く、夜は涼しい気候と山から流れ込む豊かな水に支えられ、米づくりが営まれています。

江戸時代中期には「会津農書」が書かれて、その内容を覚えやすくするため、歌農書も作られたんだよ。



酒造り

福島県には50を超える日本酒を造る蔵があり、約半数が会津地方にある蔵です。良い米、良い水、雪深く寒いという条件が酒造りに適しています。



会津桐

会津地方は良質な桐の産地として知られています。年輪がとても細かく、木目が美しく、光沢があり、丈夫で軽いことから日本一の品質と言われています。

▲ 酒造りの様子

日本酒だけでなく米焼酎などいろいろなお酒を作ってるよ



◀ 米焼酎 (只見町)

受け継がれる伝統の技



会津塗

漆器が本格的に作られるようになったのは、1590年(天正18年)に蒲生氏郷が会津に入り、会津の前にいた近江(現滋賀県)から木の器やうるしの器などを作る職人をまねいて、作るようにすすめたのが始まりと言われています。会津塗は、国の伝統的工芸品に指定されています。

▼ 絵付けの様子



▲ 会津塗



会津木綿

江戸時代初期に会津藩主となった保科正之が綿花を育てることをすすめて、会津に根づかせました。生地が厚くて丈夫で、自然なたてじま模様がすっきりと美しいのが特徴です。

近年はデザインも工夫され、衣類のほかにも、小物類などにも広く利用され人気があります。

会津本郷焼

会津美里町本郷地区で作られている国の伝統的工芸品です。江戸時代に、会津藩主の保科正之が、尾張国瀬戸(現愛知県)の焼き物師を雇い入れて、会津本郷焼が本格的に作られはじめました。現在は、16の窯元があり、それぞれ個性豊かな作品をつくりだしています。



手で編んでバッグなどを作るよ

編み組細工

会津地方の山あいとれるヒロロ、山ブドウの皮やマタタビのつるなどの植物を材料に作られます。山あいと雪のふる期間の手仕事として行われ、日常生活に用いるカゴやザルなどがつくられてきました。

作業は工程ごとに分けられてはならず、作り手それぞれが材料をとる所から完成まで1人で取り組んでいます。

三島町の「奥会津編み組細工」は、国の伝統的工芸品に指定されており、毎年6月に開催される「ふるさと会津工人まつり」は、全国から多くの方が訪れています。



多年草植物とは根がかれず毎年葉やくきをのばす植物のこと

奥会津昭和からむし織

MAP C-3

昭和村で古くから栽培が続けられている「からむし」。からむしはイラクサ科の多年草植物です。その表皮から取り出した繊維を糸にし、織るまでの作業行程の全てが手作業で行われており、地機を用いて織られた製品は国の伝統的工芸品に指定されています。

約11か月間昭和村に滞在し、からむし栽培から織りまでの一連の作業を行う「織姫・彦星」体験制度があります。

福島県会津地方振興局

〒965-8501 福島県会津若松市追手町7-5 電話：0242-29-5295 FAX：0242-29-5520

福島県南会津地方振興局

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1 電話：0241-62-2061 FAX：0241-62-5209

協力：福島県立博物館・電源開発株式会社 田子倉電力所・東北電力株式会社 会津若松支社
会津若松市・只見町・会津坂下町・柳津町・三島町・金山町・昭和村・会津美里町



平成30年度電源立地地域対策交付金事業

クロスワードの答え：A た B だ C み D せ E ん